

全国学力・学習状況調査について

丸子中学校

中学3年生を対象に全国で実施した「全国学力・学習状況調査」の結果と、今後の対応についてお知らせいたします。

国語

全国平均をわずかに下回りました。中央値は 7.0。中央値の生徒の回答を分析したところ、書くことの試行判断表現の問題の誤答数が多い傾向が顕著です。特に、無回答または回答類型 99（問題の意味や意図が全く分かっていない誤答）が多いです。問題を分析してみると、「自分の考えとその理由を書く」「読み手に向けて、何を伝えるのかを考えて書く」ことに課題が見られます。

「読み手の立場に立って読み直し、語句の選び方や使い方、文や段落の長さ、語順などが適切かどうかを確かめて文章を整えているか」という質問の回答結果は、肯定的な回答が 78%と、全国や長野県の割合よりも高い結果を示しています。（中央値の生徒も肯定的な回答が多い）

今後もこのような学習活動を続けていくことで、表現や書くことへの抵抗感を無くしていきます。知識技能の問題は、全国を上回っているので、基礎基本の定着は身についていると考えられます。

数学

全国平均を下回りました。中央値は 5.0。中央値の生徒の回答した問題を分析したところ、数と式と図形の問題の誤答数が多いです。知識技能の問題では、文字式の分野の問題に誤答数が多く、思考判断表現の問題では、証明など記述問題の誤答数が多いです。特に気になったことは、記述問題での無回答率が高くなっていることです。

問題文の意味や意図をしっかりと理解することができているのか、何を問われているのかわからないのか、それをどう表現していいのかわからないのかなど、様々な段階でのつまずきが考えられます。

ただ、文字と式の分野の誤答数が多いことから、どうやって表現をすればいいのかわからないことが多いのではないかと推察されます。まずは、文字と式の分野の知識技能の定着を目指すという課題があります。

「数学の勉強は得意か」「あきらめずに問題を解こうとしているか」の肯定的な回答の割合は、全国や長野県の割合と同値かわずかに上回っています。数学への抵抗感や心理的障壁は少ない方だと考えられるので、この良さを生かしていきたいと思います。

生徒質問紙

全国や県と比較してポイントが高い項目や低い項目は下のようになりました。

○全国や県と比較してポイントが高い質問項目

- ・自分には、よいところがあると思いますか。
- ・先生は、あなたのよいところを褒めてくれていると思いますか。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。
- ・1、2年の時に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

○全国や県と比較してポイントが低い質問項目

- ・困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談出来ますか。
- ・1、2年の時に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫して発表していましたか。
- ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。
- ・あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていますか。

ポイントの高い項目では、「人の役に立つ人間になりたい」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」などの他者に目を向け共存していこうと考えていることが伺えます。総合的な学習の時間等で地域の方とも多く関わって学習していることに起因しているものと思われます。今後も地域とともに生徒を育てていきたいと考えております。ポイントの低い項目を見ると、学習したことや学級生活の中で相手意識を持ってまとめたり発表したりする姿勢がやや弱い状況が伺えます。また、学校職員に質問したり授業中に理解できるまでとことんつきあったりする姿がやや乏しいことも伺えます。教育相談の時間を今まで以上に充実させ、生徒の声に耳を傾けたり、声だけでなく行動や持ち物などにも目を向けたりして、担任だけでなく多くの職員で関わりながら対応していきます。